

CASBEE® 広島

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)広島市中区東平塚町ホテル計画	階数	地上17F、地下0F
建設地	広島県広島市中区東平塚町4番31、4番44、4番71、4番43、4番44、4番45	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	488 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年4月 予定	評価の実施日	2025年10月31日
敷地面積	832 m ²	作成者	本井加奈子
建築面積	490 m ²	確認日	2025年10月31日
延床面積	7,788 m ²	確認者	森岡孝好



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

★★★★★ A:★★★★ B:★★★ B+:★★ C:★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 82%
③上記+②以外の 82%
④上記+ 82%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 3.0**

Q1 室内環境 **Q1のスコア = 2.7**

音環境	2.8
温熱環境	2.3
光・視環境	2.3
空気質環境	3.7

Q2 サービス性能 **Q2のスコア = 2.9**

機能性	2.9
耐用性	3.1
対応性	2.6

Q3 室外環境(敷地内) **Q3のスコア = 3.5**

生物環境	2.0
まちなみ	5.0
地域性・	3.0

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.3**

LR1 エネルギー **LR1のスコア = 3.4**

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.1
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル **LR2のスコア = 3.3**

水資源	2.2
非再生材料の	3.7
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境 **LR3のスコア = 3.1**

地球温暖化	3.7
地域環境	2.8
周辺環境	3.0

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.3

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.5	スコア = 2.5	スコア = 3.1
設計の計画上位段に配慮した事項 断熱性能の高い建材を使用している。// 効率のよい設備機器を導入している // 機械式継手等により材料使用量の削減を図り、またリサイクル材を積極的に使用しており、非再生資源の使用量の削減を図っている。 ○ Aフロアの採用によって部材の再利用可能性向上を図り、省資源化に配慮している。// 高効率な設備機器の採用によりCO ₂ の削減に配慮している。	設計の計画上位段に配慮した事項 /	設計の計画上位段に配慮した事項 耐用年数の長い内装材・配管材料の採用により、建物の耐用性の向上に配慮している。/

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される